

## 労働災害防止対策研修会が開催された

親会と青年部会が共催し、令和6年3月8日(金)午後、かながわ県民センターにおいて、鉄骨工場に焦点を当て「鉄鋼業の労務・安全・衛生」を学ぶ研修会が開催された。講師は建設業労働災害防止協会神奈川支部の推進員である鹿島俊樹氏。

講習の内容は、「化学物質のリスクアセスメント」「アーク溶接作業の健康障害防止」「墜落災害の防止」「工場と建設現場の安全衛生管理体制」「労働災害発生時の対応」「労災補償について」「労働時間管理と割増賃金」などであった。多岐にわたっているが、敢えてひとつのテーマに絞らず、時宜に合ったものや、マスコミなどによく取り上げられ、鉄鋼業関係者が関心を持っているような事項を中心とした説明であった。

2024年物流問題を控え、時間外労働等について多くの活発な質疑があり、有意義な研修会となった。



鹿島俊樹氏



受講者は17社22名であった。



## マスクフィットテスター事前準備操作マニュアル作成

マスクフィットテスト測定機器貸出事業は、令和5年7月から貸出を始め、令和6年3月末までに、16社100余人の方が当該機器により測定を行った。

これまでの経験では、測定そのものは短時間で済むものの、事前準備である測定機器とパソコンの接続に時間を要することが多々あり、そのノウハウがうまく伝承できていなかった。

そこで、3月19日(火)の午後、組合事務所において、教育技術委員会を開催し、各委員の経験を持ち寄って整理し、標記マニュアルを作成した。ご利用者は事前準備がわかりやすくなると思われる。今後も随時更新予定。



申込に当たっては、事前にご利用のマスクのフィットテスト用アダプタをマスクメーカーから購入し、ご用意ください。

## 鋼構造ジャーナルの神奈川県担当記者が替わりしました

これまで担当していた桑野祐滋氏が退職され、1期下の川村周(あまね)氏が担当となりました。イベントの取材等でお見掛けすることがあると思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。

桑野さん、長年にわたりありがとうございました。新天地でのますますのご活躍をお祈りしています。



桑野さん 川村さん

総会のお知らせ 令和6年5月22日(水)午後、HOTEL PLUMMにて。賛助会員との交流会も開催！

## 青年部会からのお知らせ 鈴木青年部会会長

### 1 全構協・青年部 関東ブロック協議会

2月17日(土)、千葉市のオークラ千葉ホテルで、各県青年部会員をはじめ賛助会員ら約90名を集めて、標記協議会が開催された。本県からは、鈴木・田中・村岡・内藤・北條の5名が参加した。

「知らないと損をする『会社の保険』かけ方使い方 かんたん金融マネジメント」と題した研修事業が、株式会社SAKURA SOLUTIONの長尾大祐取締役社長と山中裕貴最高執行役員が講師となり行われた。上手に保険を活用することで、高額な設備の修理や維持、更新などの費用的な負担を軽減できるとの説明があった。

その後の懇親会で、県を超えて親睦を深めた。

なお、次回(令和7年2月頃)の開催県である当県会長である私が中締めをさせていただいた。

### 2 全構協・青年部 意見交換会

2月21日(水)、都内鉄鋼会館で全構協が「青年部との意見交換会」を開催した。出席者は全構協側は永井会長ら三役と理事メンバー、青年部側は各県組合青年部代表者。本県からは鈴木が出席。

全構協から会長挨拶や2024年年頭所感・説明の後、あらかじめ各青年部から提出され事前集約された意見を基に、意見交換を行った。

提出意見が多かった項目は順に、「自社の社員確保」「青年部の活動上の課題」「業界を取り巻く環境」「2024年問題」「人材育成(社員)」「人材育成(業界)」「福利厚生」であり、これらについて活発な意見が交わされた。中でも、「自社の社員確保」に関しては、経営の維持・安定等の面から最重要課題として取り上げる声が目立った。課題を全構協と全国各県青年部会で共有する良い機会となった。

組合を脱退する岡部監事が役員会でご挨拶された鉄骨業界を去るわけではないので、これからもよろしくとのことでした。

長い間いろいろな役職で組合に貢献していただき、ありがとうございました。

